

豊後竹田駅周辺整備および 市街地導水路再整備の 状況について

令和8年4月23日
竹田市建設課

都市再生整備計画関連事業（都市構造再編集中支援事業）

（交付金）対象事業

大目標

交通結節点の再整備を核とした利便性・安全性の向上と人の流れの創出による“活気ある中心市街地の形成”

目標1：誰もが安心・安全に利用・交流できる駅前空間を「創る」

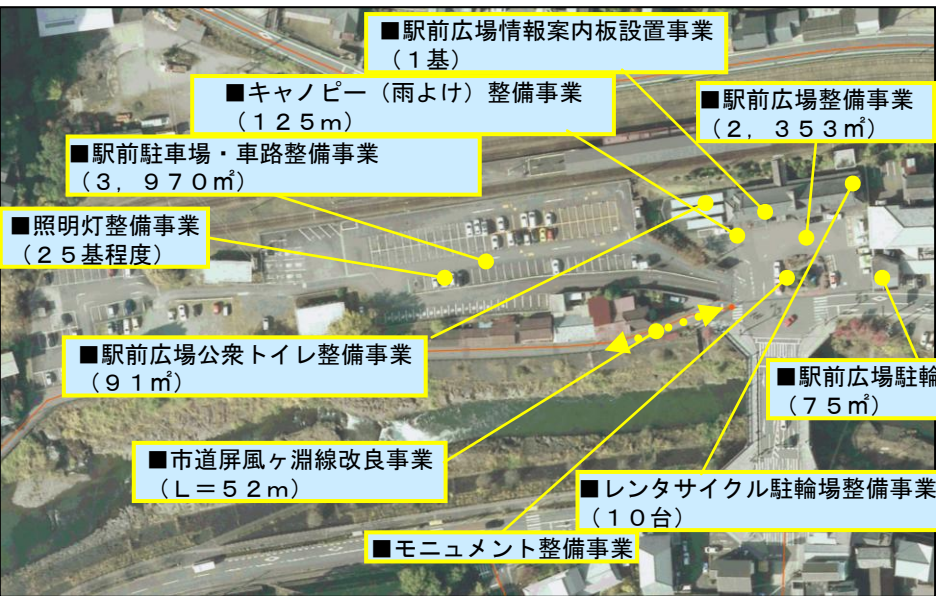
- ◆交通動線を勘案した駅前広場の整備
- ◆交差点の安全性の向上
- ◆老朽化したトイレの改修
- ◆駅前ロータリー及び駐車場の安全性・快適性の向上
- ◆乗り継ぎ利便性・快適性を高める環境の整備

目標2：中心市街地と市内周辺地域、竹田市と他地域を「結ぶ」

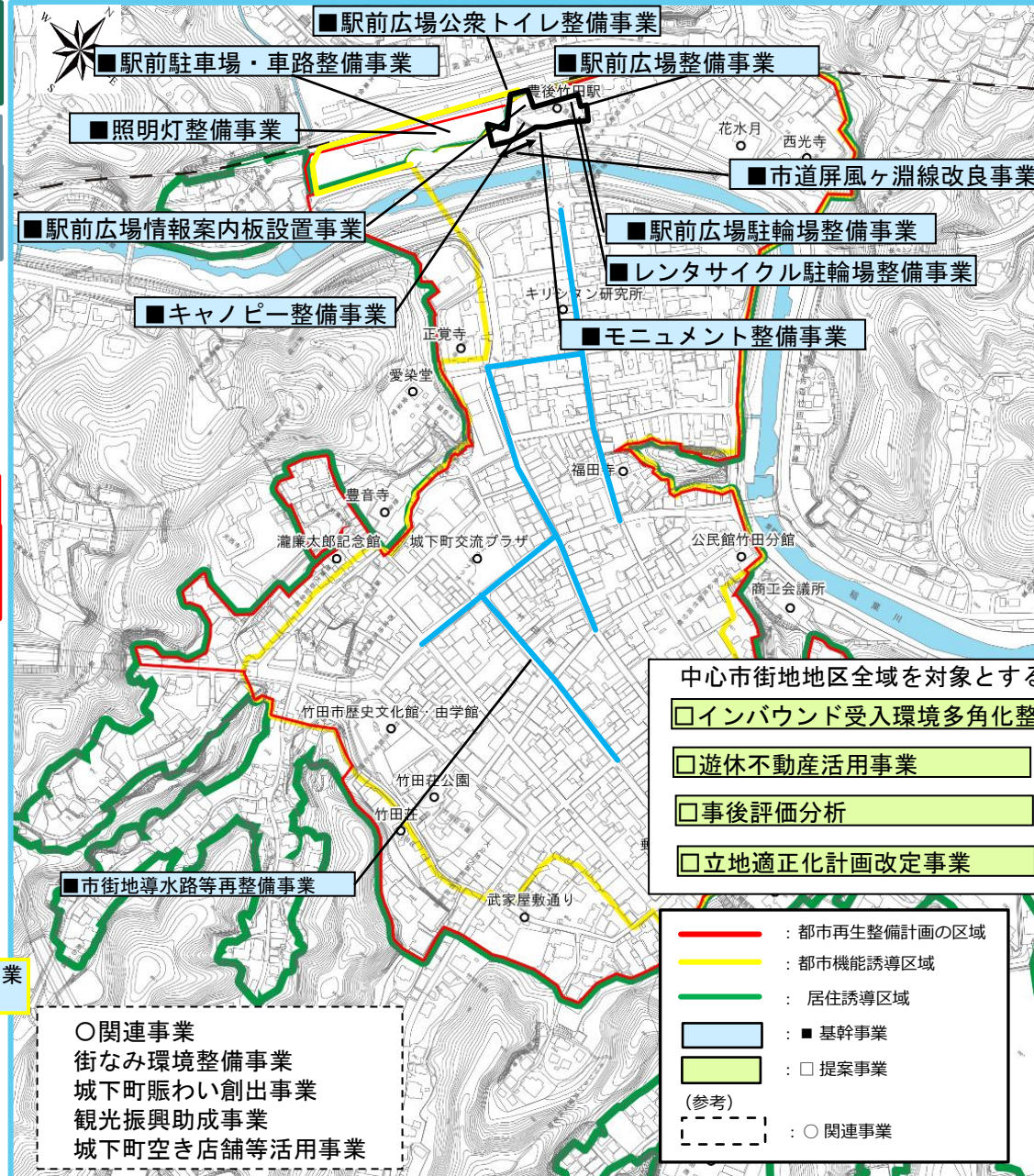
- ◆都市間運行バスバースが確保された駅前広場の整備
- ◆一般車（送迎車両）の運行の円滑化
- ◆地域交流に寄与する施設の整備
- ◆交通空間の機能強化
- ◆駅前広場や駐車場の一角への休憩スポット設置
- ◆情報発信設備の整備

目標3：豊後竹田駅と城下町（中心市街地）を「繋ぐ」

- ◆交通動線を勘案した駅前広場の整備
- ◆交差点の安全性の向上
- ◆老朽化したトイレの改修
- ◆駅前ロータリー及び駐車場の安全性・快適性の向上
- ◆乗り継ぎ利便性・快適性を高める環境の整備



※対象事業費の50%補助



駅前広場検討の経緯（抜粋）

- ・昭和62年 大分県の都市計画として、豊後竹田駅前広場の整備が決定される ※「竹田駅前平線」（道路）と一体整備
- ・平成29年 竹田駅前平線の廃止に伴い、「豊後竹田駅前広場」の検討に着手
- ・令和4年度 交通量調査、課題点の抽出を行い、基本方針・計画案を作成
R5/3/29 竹田市都市計画審議会開催
- ・令和5年度 R5/12/18～19 交通事業関係団体にヒアリング実施
R6/1/22 市民ワークショップ開催
R6/1月 市民アンケート調査実施（高校生含む）
R6/1/26 第1回豊後竹田駅周辺整備事業検討委員会開催
- ・令和6年度 R6/5/9 第2回豊後竹田駅周辺整備事業検討委員会開催
R6/7/18 竹田市都市計画審議会開催
⇒意見をもとに計画案見直し
- ・令和7年度 R7/6/13 第3回豊後竹田駅周辺整備事業検討委員会開催
R7/7/7 竹田市都市計画審議会開催
⇒計画案承認の答申
R7/10/4 第2回市民ワークショップ開催
R7/11/10～11/24 駅利用者アンケート調査実施／市内4中学校でステッカー調査実施
R8/2/24 中心市街地活性化ビジョン検討に係る市民説明会実施
⇒市民の意見／県との交差点協議等を受け、計画案検討中

豊後竹田駅前広場における問題点の抽出・整理

(令和4竹田駅周辺整備調査・検討業務委託)

駅前広場現況の問題点

① 玄関口としての魅力に乏しい駅前広場空間

- 自動車交通主体の駅前広場であり、城下町への歩行者の出入口として相応しい状況でない
- 中央部のモニュメントの魅力を活かしていない

② 歩行者類交通に優しくない駅前広場動線

- 駅前広場に歩道はなく、歩行者類交通は自動車交通が往来する中を通行しなくてはならない
- 送迎車両、タクシー等の往来で歩行者の安全性が阻害

③ 公共交通結節機能の分散

- 広域幹線的な公共交通である特急バスは、駅前広場内で物理的要因から乗入れできず、広域幹線の停車場所が分散している

④ バリアフリー動線の無い駅ナカ

- 駅舎からホームにかけて高低差があり、現状、地下通路から階段でのアクセスに限定される
- バリアフリー化が容易ではない状況

⑤ 送迎車両向けの駐車容量不足

- 朝夕のラッシュ時は送迎車両による動線が錯綜
- 一時駐車場所は市営駐車場に限られるが、ロータリー内にも混入し、安全性を阻害

⑥ 安全性に懸念のある交差点形状

- 駅前広場と交差点が直結しており、車両の出入りによる動線が錯綜
- 交差点の流出入交通の動線が複雑

① 交通結節点としての機能集約の必要性（竹田市立地適正化計画）

- 公共交通（鉄道・バス・タクシー等）の利用者、竹田市の来訪者にとって使いやすく、一大交通結節点としての機能の集約を図る

② 多様なモビリティの交通結節点（竹田市地域公共交通計画）

- 地域間交通、都市内交通、地域内交通（路線バス・コミバス）、デマンド交通、タクシーなど、多様なモビリティによる公共交通体系の構築と合わせた、総合的な交通結節点が求められる



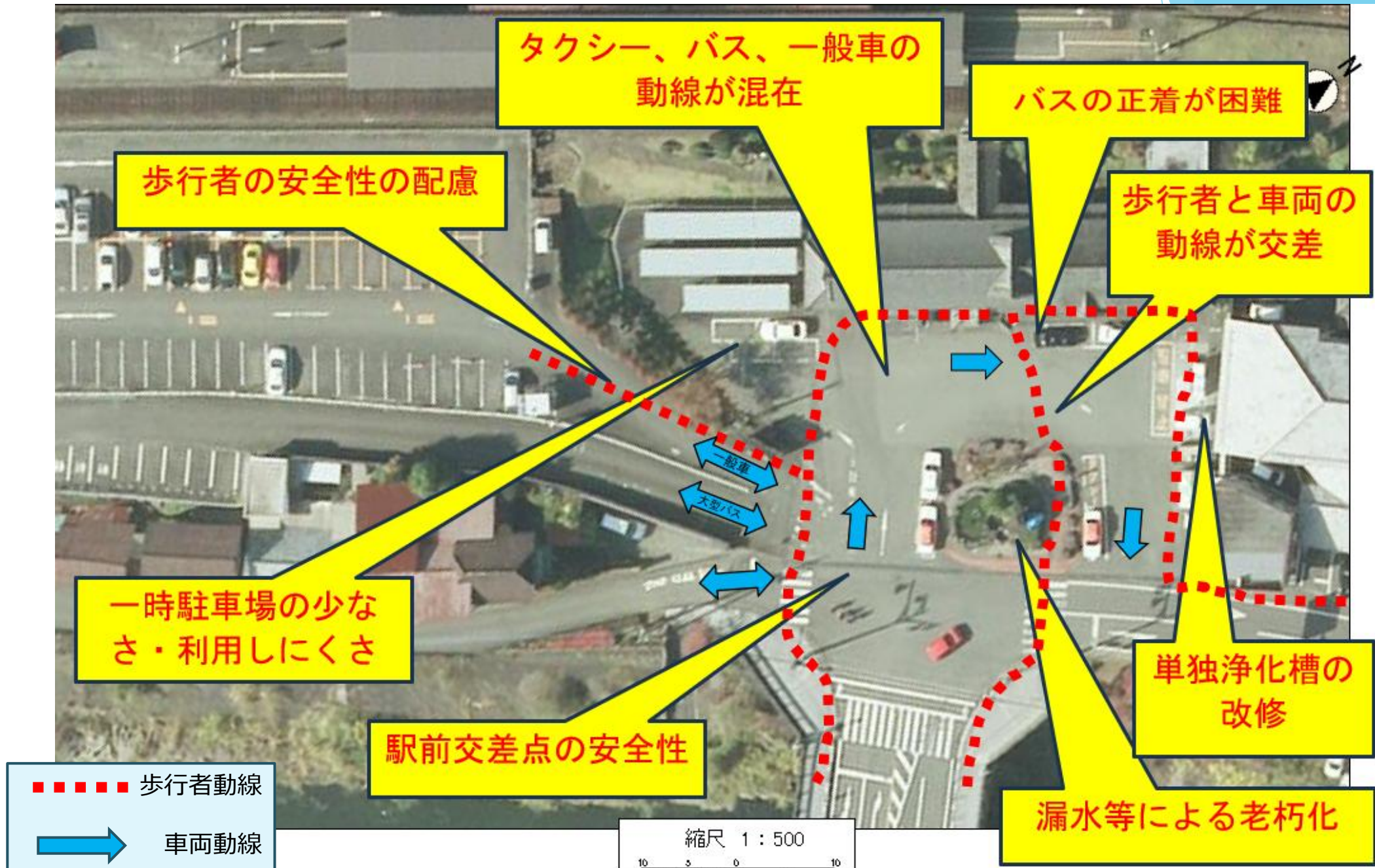
関連計画との連動性

R5市民アンケート及び市民ワークショップ意見

※市民アンケート：R6年1月実施（高校生含む）
市民ワークショップ：R6年1月22日実施

		駅前広場、ロータリー、駐車場、駐輪場	駅舎	案内表示	交通等	
JR竹田駅の課題	魅力	WS	<ul style="list-style-type: none"> ・風情があり城下町の竹田らしさを感じることができる駅舎の外観 			
	課題	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の少なさ・利用しにくさを感じる方は少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅舎や駅周辺の景観への愛着（6割） 		
		WS	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関口としての魅力不足 ・駅前広場の面積の狭さ ・未活用の池 ・滞留機能・施設の不足 ・駅前の暗さ、雰囲気悪さ ・駅前交差点の安全性 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食・売店の不足 ・滞留空間の不足 ・駅舎の景観をタクシー乗り場が阻害 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内の不足・分かりにくさ ・交通案内の不足・分かりにくさ（大型バスの停留所、ロータリー出入口、駐車場の位置、バス時刻表、国道からの動線） ・トイレの分かりにくさ 	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシーと送迎車の混在
		アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の待機場所の不足（8割） ・送迎時の待ち時間の滞留場所の不足（5割） ・送迎やバス、タクシー等の乗降場所の利用しにくさ（5割） ・ロータリーの狭さ（5割） ・駅前広場の歩道の歩きにくさ（6割） ・駐車場の少なさ・利用しにくさ（5割） 	<ul style="list-style-type: none"> ・待合せ等で時間を過ごせる空間の少なさ（8割） 		
アイデア工夫案	駅前	WS	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりを持つべき（ロータリー機能の分散） ・駅前駐車場と駅前広場の高低差解消 ・駅前広場と駐車場を繋ぐ動線の確保 ・イベントの開催 ・憩いの場の確保（市民、子ども） ・竹田らしいシンボリックな池 ・タクシー乗り場への屋根設置 ・駅前駐車場の立体化 	<ul style="list-style-type: none"> ・滞留空間の確保（観光物産、飲食スペース、フリースペース、高校生向けの空間） ・Wi-Fiの設置 ・駅周辺自体の目的化 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内（岡城までのルート案内、岡城ライブカメラの設置、デジタルサイネージの有効活用） ・交通案内（竹田ICや国道からの案内、駐車場案内、タクシー料金表等） ・案内板や看板等のデザイン統一 ・モビリティの具体的なコース設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者に配慮した駅前・まちなかの整備（歩道の整備、信号の設置等）
		アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在空間の整備を期待（5割） ・歩行者空間の整備、多世代交流などの地域に寄与する整備を期待（3割） 		<ul style="list-style-type: none"> ・「豊後竹田駅における観光案内機能の充実」を期待（3割） 	

駅前広場・駐車場における現状の問題点



方針①：竹田市中心市街地の玄関口としてふさわしい魅力的な空間の確保

中心市街地（城下町）へのつながりを重視し、歩いて楽しむ魅力をさらに増進するため、駅前広場に安全かつ魅力的な歩行者空間を整備し、まちの玄関口としての魅力向上を図る。

方針②：歩行者・自動車双方にやさしい安全・安心な駅前広場の整備

歩行者と自動車の動線を区分し、安全かつ利便性の高い駅前広場空間とする。加え、公共交通を含む自動車からの乗り換え客の歩行者動線についてはバリアフリーで豊後竹田駅にアクセスできる環境を整備し、高齢者などの移動弱者にとっても使いやすい駅前広場を目指す。

方針③ 様々なモビリティが集約された公共交通結節点の整備

現在乗入れている鉄道、路線バス、タクシーだけでなく、地域間交通としての特急バスや、地域内交通としてのグリーン スローモビリティ・パーソナルモビリティ等の様々なモビリティが集約された交通拠点としての整備を図る。

方針④：持続的かつ効率的な整備

過度な整備ではなく、現状の土地形状を活かしながら効率的な整備を行うことで、事業費と整備効果の適切なバランスを図る。また、民間開発意欲との連携を図り、効率的かつ持続的な運営が可能な施設整備を目指す。

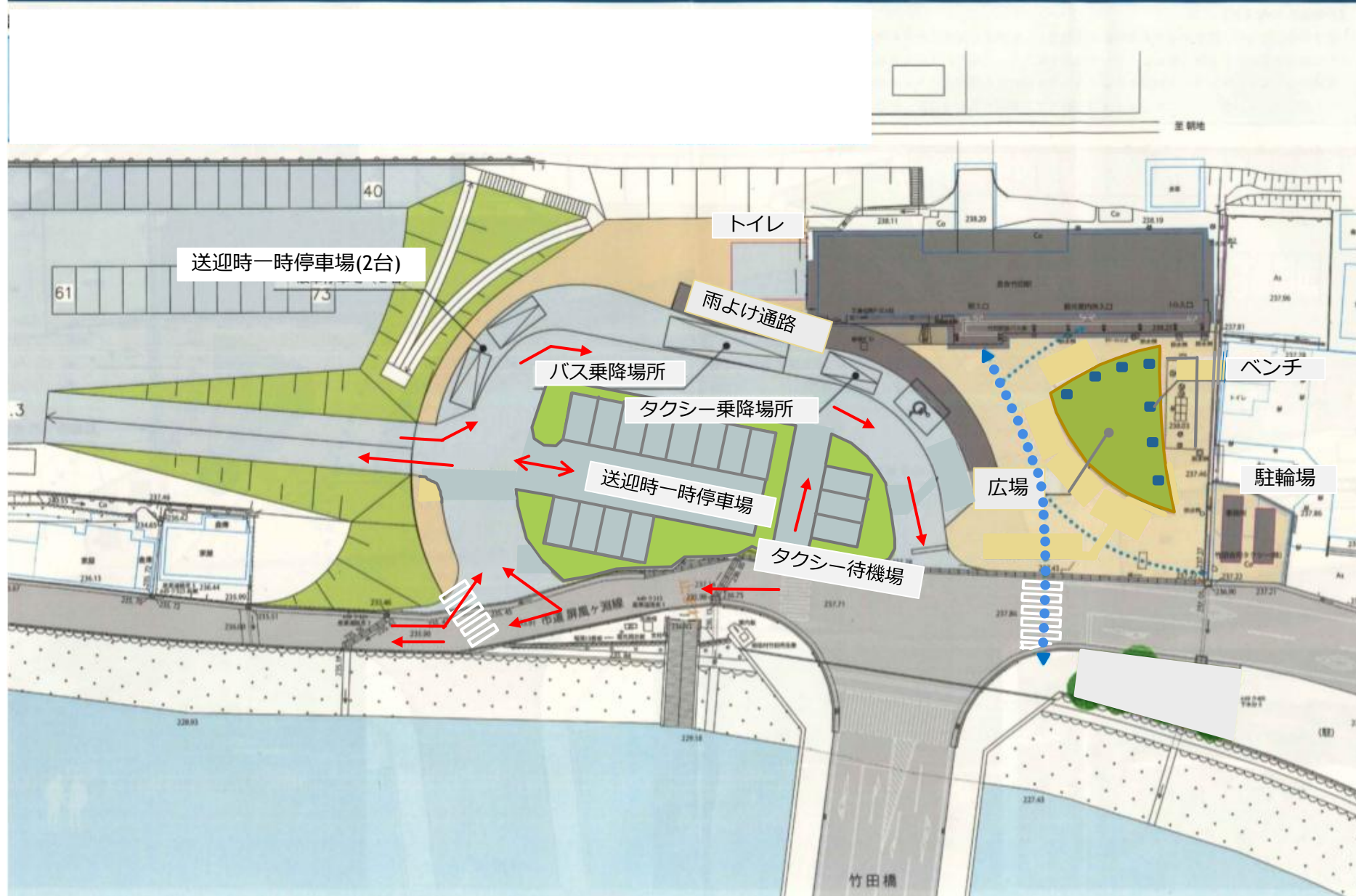
方針⑤：市民や来街者に愛され、憩いの場となる駅周辺整備

本市の玄関口として城下町としての歴史を伝え、市民や高校生、来街者の憩いの場となる広場の整備を図る。また、整備検討に当たっては市民等との綿密な意見交換を行い、整備のプロセスをお通じて駅前空間への愛着の醸成やまちづくりに対する意識の醸成を図る。

令和8年2月時点のイメージ ※検討中

※駅前のみ拡大

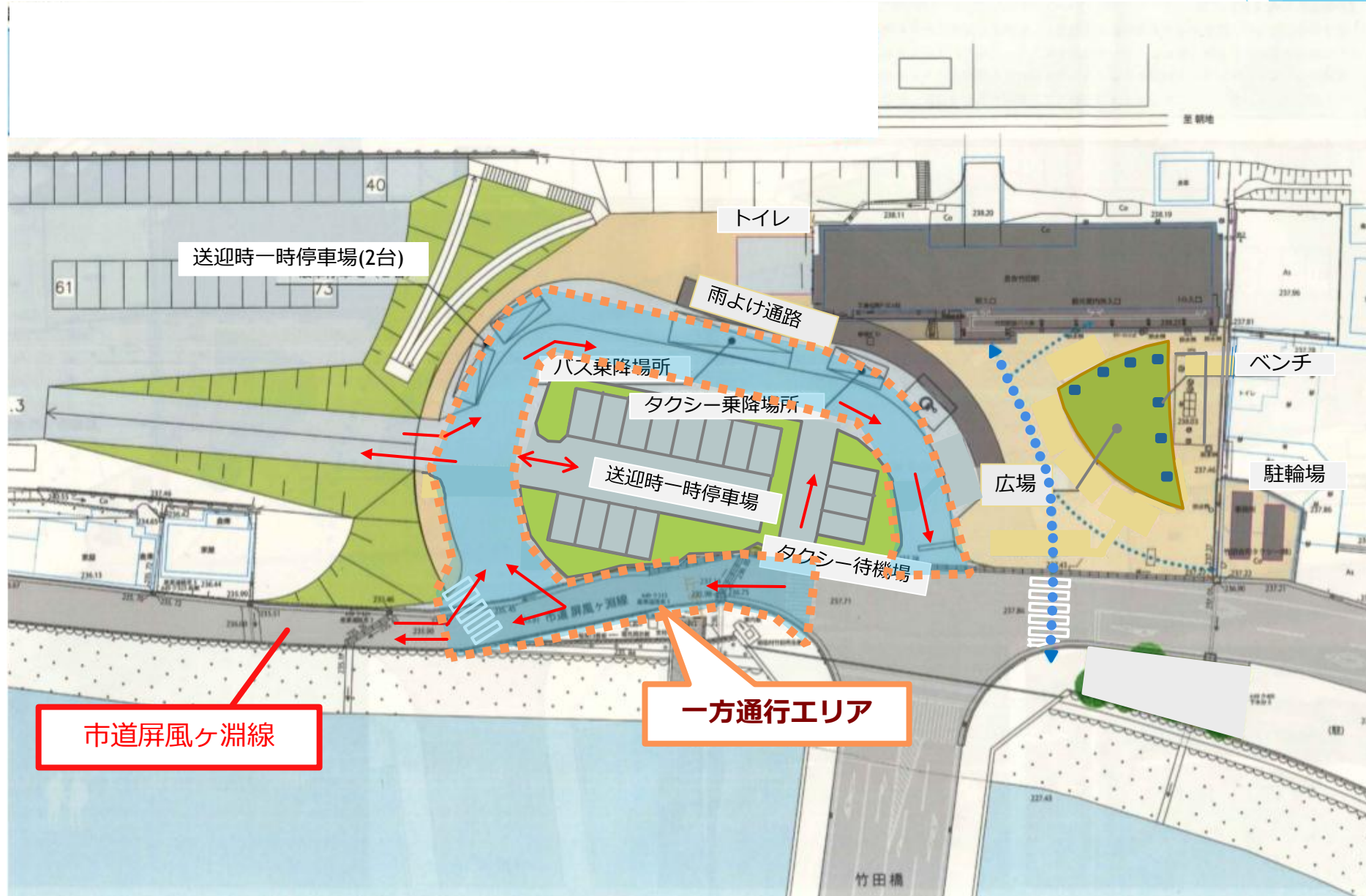
6. 駅前広場計画 (案)



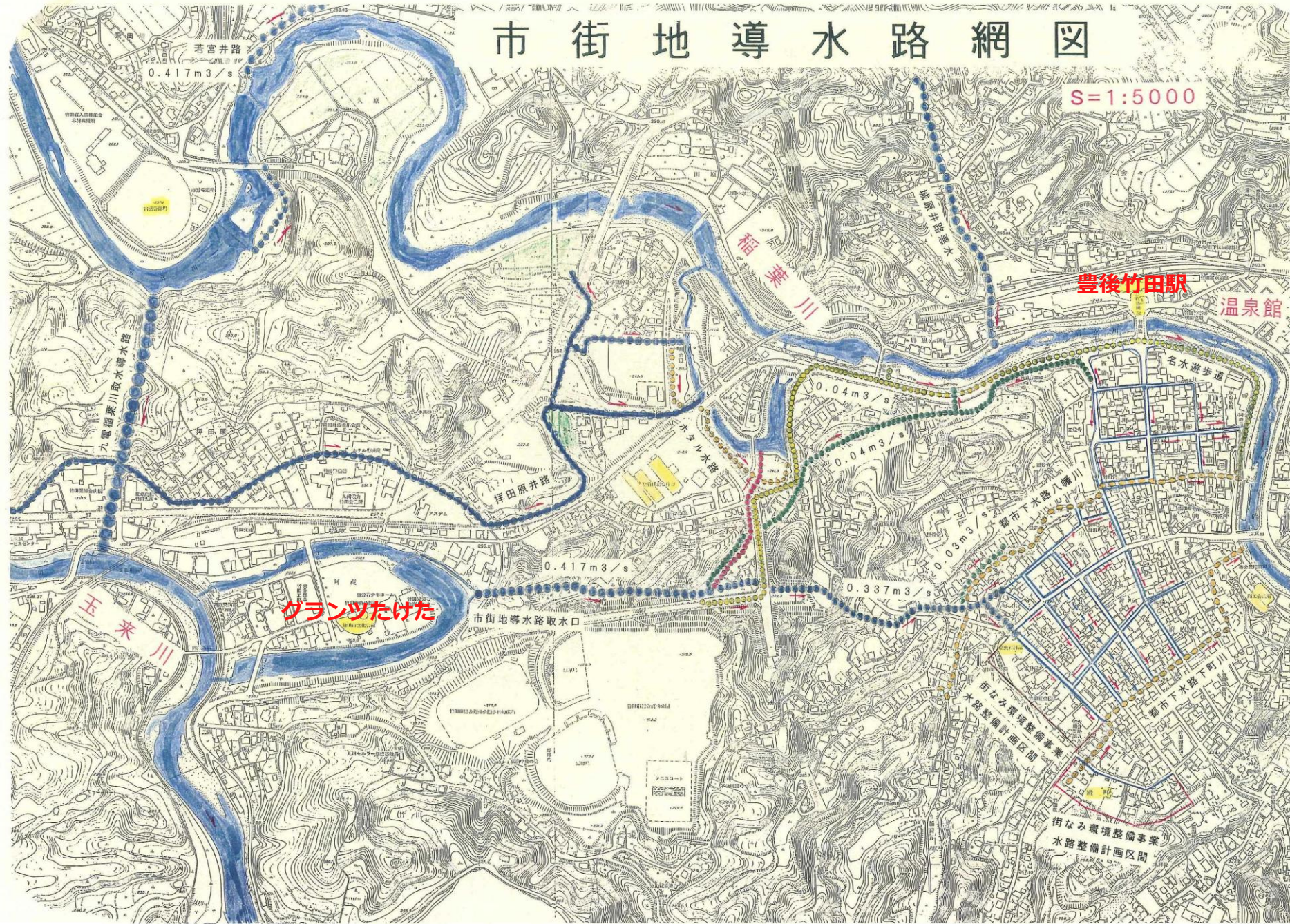
車両動線イメージ図

※令和8年2月時点でのイメージ

※駅前のみ拡大



市街地導水路



市街地導水路における課題および整備内容

市街地導水路における課題

① 水流の停滞・流量の調整

● 水路内の勾配の悪い箇所や流量調整の難しい箇所等があり、水流が滞り、土砂が堆積する。

② 虫や悪臭

● 合併浄化槽の普及率が低く、生活雑排水がそのまま導水路に流れることにより、虫や悪臭が発生している。

● 天候の影響等により導水路への水量を制限する必要がある場合は、悪臭が悪化する。

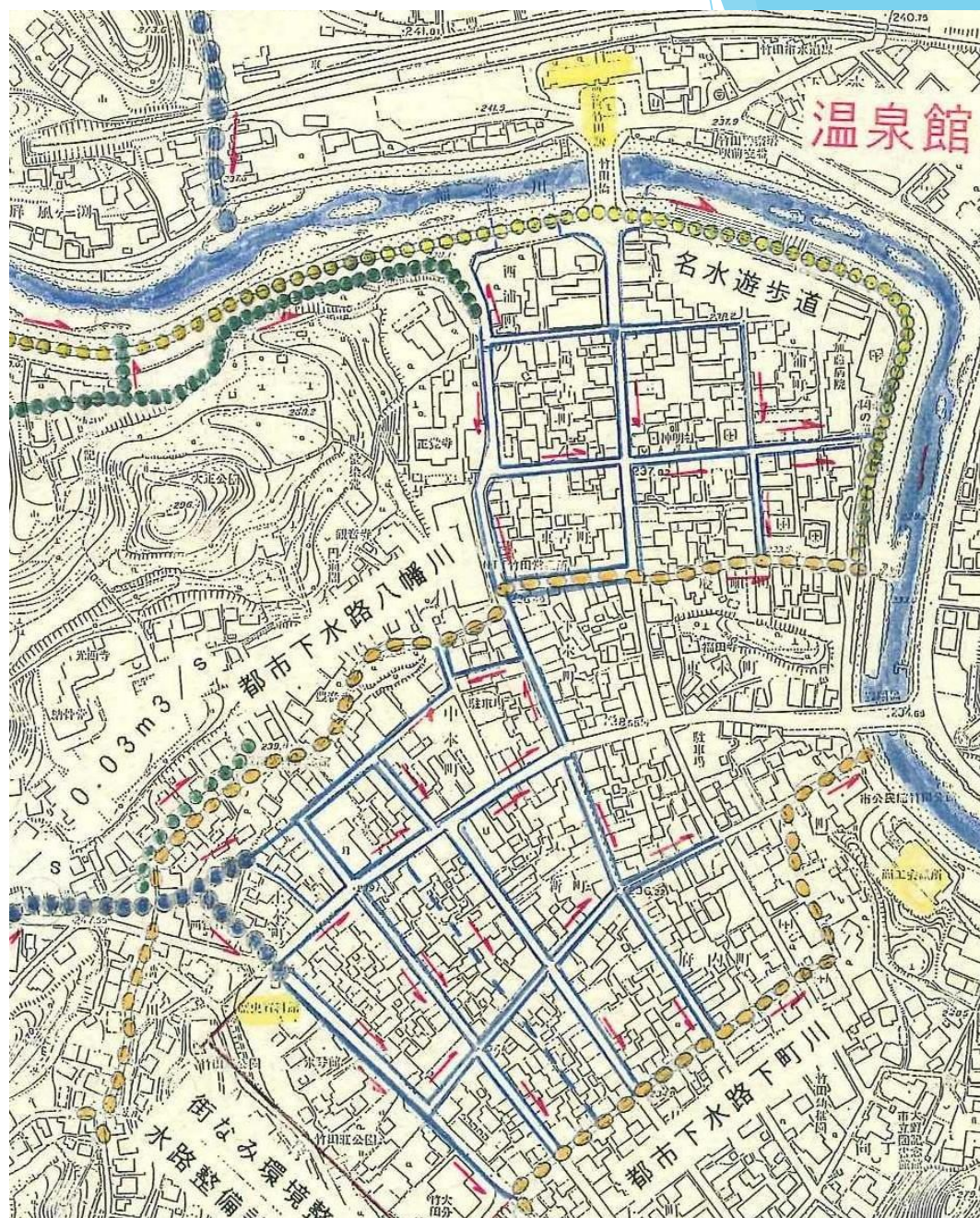
③ 老朽化による漏水

● 水路自体の老朽化により、漏水している箇所がある。



対応内容（予定）

- 各種調査
- 調査結果による問題箇所の整備



都市再生整備計画（交付金事業）に係る事業費

※金額は現時点の概算

(全体) 測量設計費(建物鑑定費含む) 約 1億2千万円
(全体) 用地・補償費 約 3億7千万円



総事業費 約 10億1千万円
※対象事業費の50%補助

ご質問・ご意見・提案等について

竹田市公式ホームページに
「豊後竹田駅周辺整備事業」の
バナーを設置しました！

※各種資料の公開やお知らせのほか、
質問・ご意見に回答する
Q & A等を掲載予定



右の二次元コードか、下記のURLから質問等を送ることができます。

<https://logoform.jp/form/KjxC/1535967>

